【第40回】労務需給調査（建築･設備工事）

2026年8月調査

【 調査概要 】

● 調査の目的
・全国11都市（札幌・仙台・東京・新潟・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇）における総合工事業者の工事受注状況および工種別労務需給状況を把握することを目的としている。

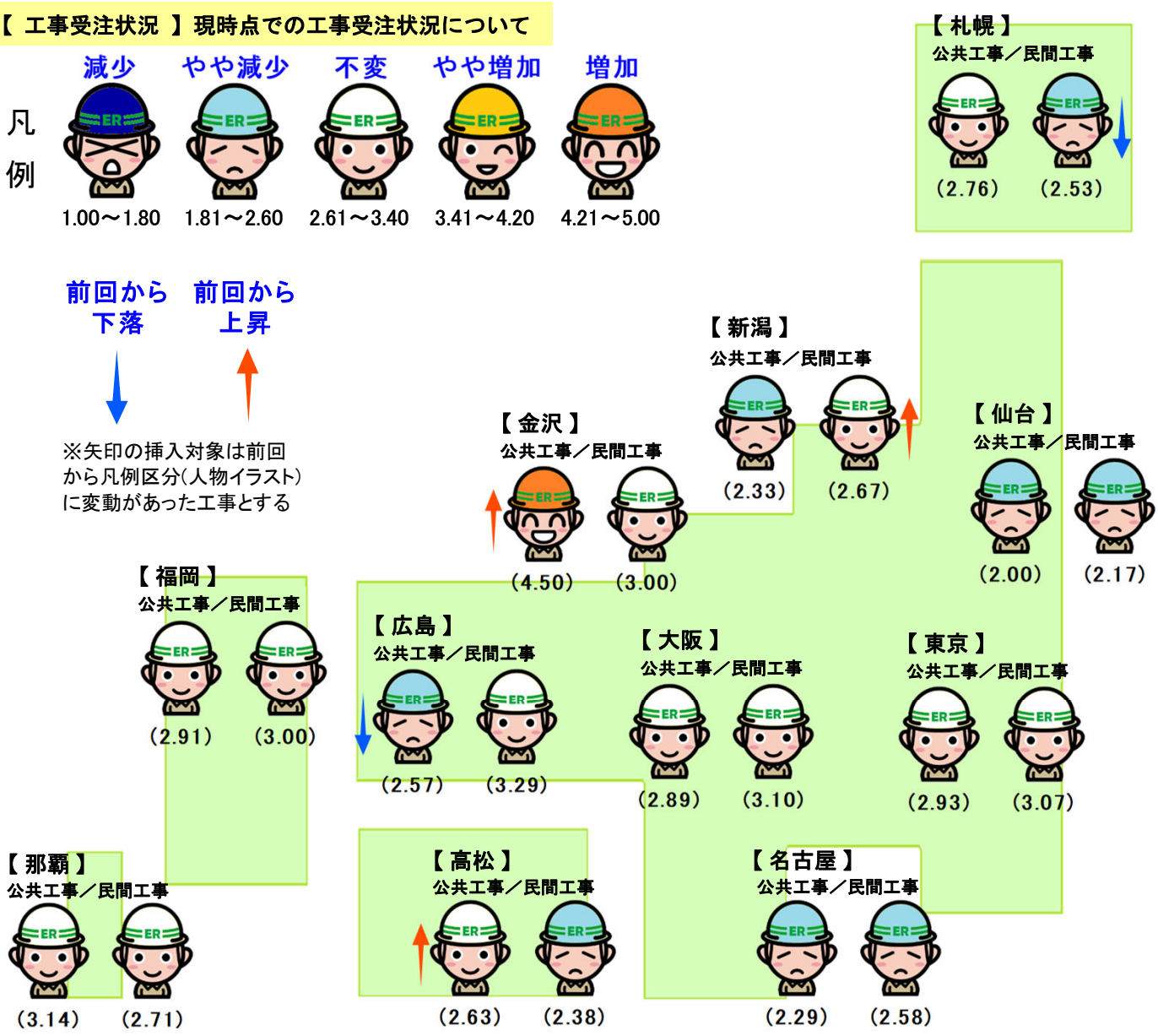
● 調査対象業者
・対象都市において、元請として工事を受注している総合工事業者、延べ約410社を選定。

● 調査時期
・2026年7月中旬～8月中旬。

● 調査方法
・書面調査。所定の項目に対して、回答者が以下のような5段階で評価・判断して記入する。
・工事受注状況
1:減少　2:やや減少　3:不変　4:やや増加　5:増加
・工種別労務需給状況
1:緩和　2:やや緩和　3:均衡　4:やや逼迫　5:逼迫

● 集計方法
・工事受注状況および工種別労務需給状況について、対象都市（全国11都市）ごとの単純平均により代表値（小数第3位を四捨五入）を算出した上でグラフ化する。

【 工事受注状況 】現時点での工事受注状況について



	全国	札幌	仙台	東京	新潟	金沢	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	那覇
発　送	413	45	45	61	23	17	43	51	28	30	38	32
回　収	167	21	16	31	8	4	21	22	9	12	15	8
回収率	40.4%	46.7%	35.6%	50.8%	34.8%	23.5%	48.8%	43.1%	32.1%	40.0%	39.5%	25.0%

一般財団法人 経済調査会

全国

【第40回】労務需給調査（建築・設備工事）

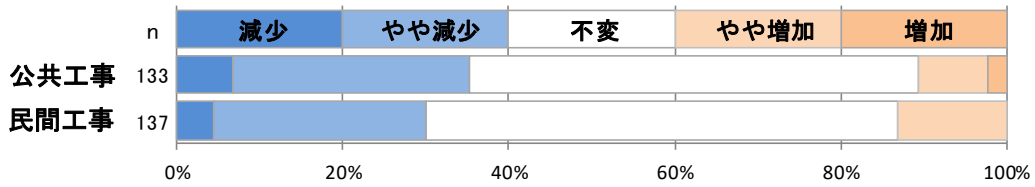
2026年8月調査

Ⅰ.【 工事受注状況 】現時点での工事受注状況について

『公共工事』 『民間工事』

(2.71) (2.79)

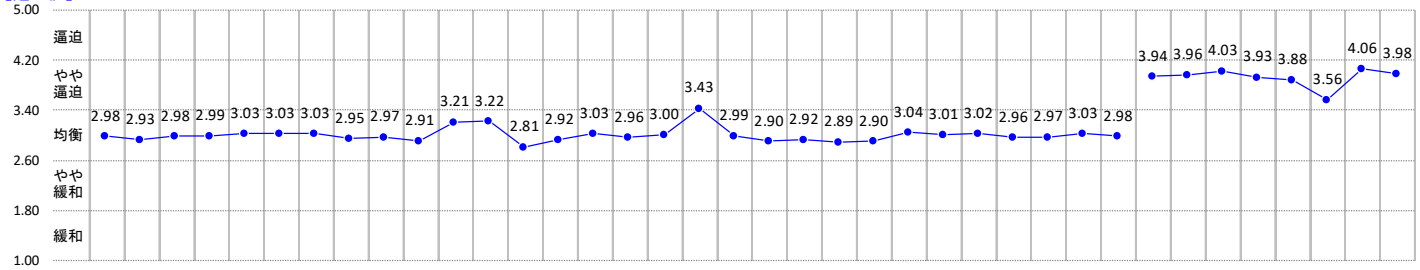
n=有効回答数



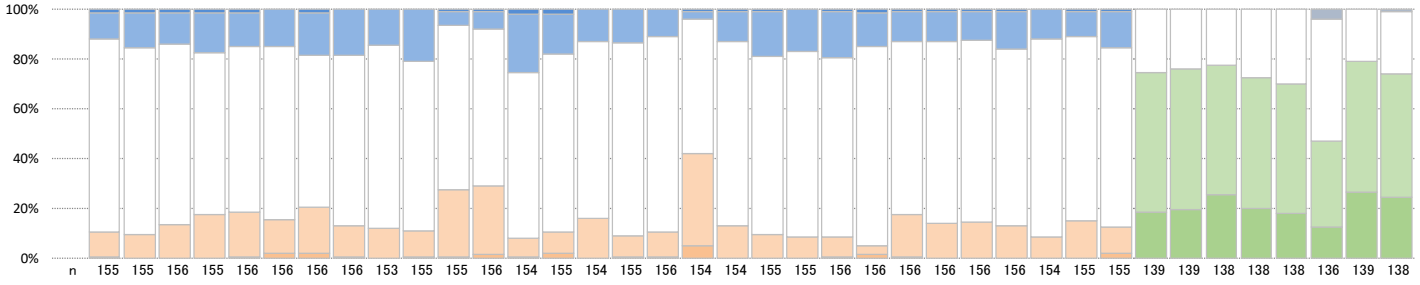
Ⅱ.【 工種別労務需給状況 】現状の労務需給および３カ月後の見通しについて

現況

【逼迫値】



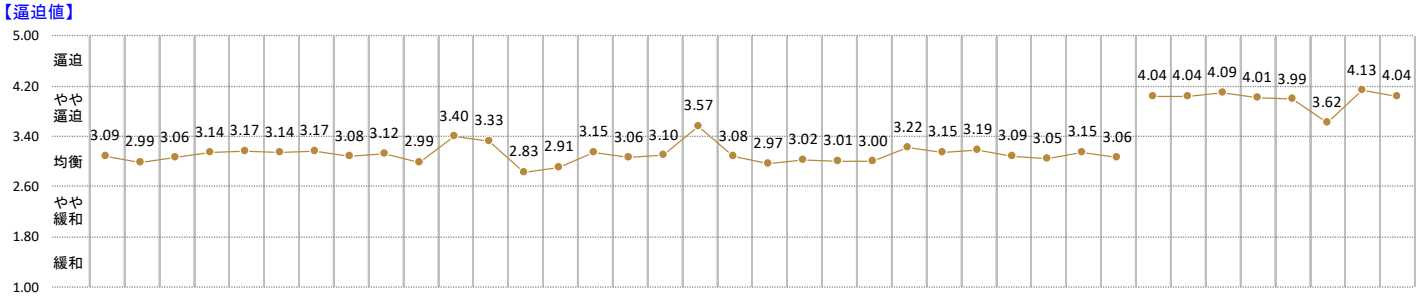
【回答の割合】



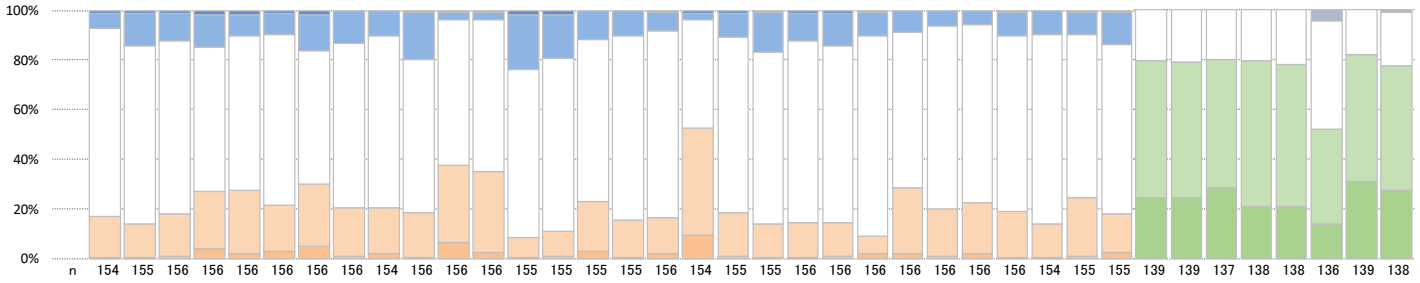
直接仮設工事 / 土工事 / 地業工事 / 鉄筋工事 / CON工事（打設手間） / CON工事（ポンプ圧送） / 型枠工事 / 鉄骨工事 / 耐火被覆工事 / ALC・ECP工事 / 防水工事 / シーリング工事 / 石工事 / タイル工事 / 木工事 / 屋根及びとい工事 / 金属工事 / 左官工事 / 吹付工事 / 木製建具工事 / 金属製建具工事 / シャッター工事 / ガラス工事 / 塗装工事 / 軽量鉄骨下地工事 / 内装ボード工事 / 内装床工事 / 仕上ユニット工事 / 外構工事 / 解体工事 / 配管工事 / 給排水衛生設備工事 / 消火設備工事 / 保温工事 / ダクト設備工事 / 昇降機設備工事 / 電気設備工事 / 通信・情報設備工事

先行き

【逼迫値】



【回答の割合】



【凡例】建築工事 緩和 / やや緩和 / 均衡 / やや逼迫 / 逼迫

設備工事 緩和 / やや緩和 / 均衡 / やや逼迫 / 逼迫

一般財団法人 経済調査会